

「出題の意図」

選抜区分	2024（令和6）年度（選抜区分：一般選抜 後期日程） 国際環境工学部 建築デザイン学科（科目名：面接）
出題の意図 （評価のポイント）	<p><面接の意図・ねらい> 個別面接・口頭試問を行った。</p> <p>個別面接・口頭試問では、</p> <ul style="list-style-type: none">・自己PRおよびその内容・AIと人間が設計した住宅・木材を使用した建築のメリット・建築分野におけるカーボンニュートラルの取り組み <p>について質問し、回答を求めた。 これらの質問を通じて、受験生の思考力および意欲などを確認した。</p> <p>個別面接・口頭試問</p> <p>自己PRに関する出題では、どの受験生も事前に回答した面接シートの内容を背景としつつも、自らの考えを整理し明快な回答をした受験生と、自身を自然体でアピールすることができなかつた受験生に分かれた。</p> <p>AIと人間が設計した住宅についての質問では、受験生ほぼ全員が人間による住宅設計がよいと回答した。回答に詰まる受験生は少なかったが、木材がもたらす心理的効果など感性的な理由を述べた受験生が多く、AIについての知識と経験をふまえた回答は少なかった。</p> <p>木材を使用した建築のメリットについても感性的に理由を述べる受験生が多かったが、1つ前の質問と比べると、日本の伝統技術の継承や建築材料の地産地消の観点などの客観的な視点も見られた。</p> <p>カーボンニュートラルについては、正確に説明できた受験生は非常に少なかった。カーボンニュートラルについて面接官が説明をした後の建築分野における取組については、1つ前の質問からのつながりで木材の活用について述べた受験生が多かった。全体的に回答に苦慮している様子が見られた。</p>